

照陽の家だより

第9回照陽まつり開催

令和元年9月14日(土)

地域交流会

平素より鳥取ふれあい共生ホーム 照陽の家の活動に多大なご協力、ご指導を賜り厚く御礼申し上げます。さて、先日は「第9回 地域交流会 照陽祭り」を盛大に開催出来ました事、職員一同心より御礼申し上げます。当日は快晴に恵まれ沢山の皆様にお出かけ頂き狭い施設内でご迷惑をおかけ致しましたが事故もなく無事に終える事が出来ました。まずは高齢者の皆様と園児との出会いの唄「あくしゅでこんにちは！！」から始まりました。続いて1・2歳児による子ども神輿は高齢者の選抜メンバーとのコラボレーション、次に田植え唄保存会の皆様(14人のメンバーの方々による)田植え唄や本物そっくりの大きな牛の登場に会場は沸きました。フィナーレは長年ご協力頂いているハワイアンフラの米川様、古谷様のリードのもと、参加の皆様と利用者様、職員がレイを首にかけ一緒にフラダンスを楽しみました。ご出演、ご協力に心から感謝申し上げます。そして運営推進委員の皆様、地域ボランティアの方々にも様々なサポートを頂きました。本当に有難うございました。また、皆様から商品提供して頂きましたフリーマーケットでは34,885円の収益を上げる事が出来ましたので後日、日本海新聞を通じ日本赤十字に寄付させて頂く予定です。今後も照陽の家のお祭りが地域の方々との協働で一緒に楽しめるイベントとなりますようさらに準備して参りたいと存じます。当日の不手際な進行、対応などご不快な事が有りましたらこの場をお借りしてお詫び申し上げます。今後とも続いてご支援頂きますようお願い申し上げます。

(施設長)三代富士子 (実行委員長)原 翔太

照陽まつり



子どもたちと利用者様と共演



子どもたちの演舞



田植え唄保存会の皆様



フラダンス



フリーマーケット



バーベキュー



昼食会

照陽の家の日常



かるた会



絵を見ながらお話をしました。



書道



ふれあい

作業療法士のリハビリメモ

「第2回 いきいきサロン トミさんの家」を開催

作業療法士 岡野元明

令和元年 8月28日(水)午後1時半より米子市錦町にあるトミさんの家で開催しました。

第2回のテーマは「認知症サポーター養成講座 ～主役は地域にお住まいのみなさんです～」講師は照陽の家の主任介護支援相談員並びに認知症ケア上級専門士である三代富士子が担当致しました。認知症とはどんな病気なのか、まずは病状の理解から、次にその周りの方々の関わり方によって現れる症状に変化が有る事、そして「認知症になっても住み慣れた地域でその人らしく」生きるための地域のあり方など具体例を用いて説明しました。約20名の参加者の方も熱心に聞いて下さいました。講義後には私、岡野による「座位でもできるストレッチ」や認知症予防体操等、難しい体操でもみなさん手足を熱心に動かされ笑いの絶えない会となりました。小さな集まりではありますが錦町、灘町、角盤町など近隣住民の方が定期的に顔を合わせて住みやすい地域作りについて話す大切さを実感しました。トミさんの家の活動を通して自分自身も地域のことや認知症の理解について続いて学んでいけたらと思います。

今月の言葉 人生はいつも これからやってくるもの。 重要なのは明日なのです。

～ホセ・ムヒカ～